



1月12日
平成28年度
医学部医学科白衣授与式

講堂大ホールにおいて、白衣授与式を開催し、医学部医学科の4年生122人が出席しました。駒田学長、緒方医学部長をはじめとする7人の授与者から出席するすべての学生に白衣が授与され、学生たちは、真新しい白衣に袖を通しました。



1月26日
林家菊丸
三重大学社会連携特任教授
特別落語講座

菊丸社会連携特任教授が「落語に必要な芸事いろいろ」というテーマで講義を行なった後、上方落語の「浮かれの掛け取り」を上演しました。平日にもかかわらず学内・学外あわせて60人を超える来場者がありました。実演を交えて説明をする場面では来場者から笑いや感嘆の声が上がりました。



1月28日
ポストジュニア・サミットinくわな2017

次世代を担う県内の高校生、本学の学生やドイツ、スウェーデン、韓国、中国、台湾からの留学生、計6か国80人が桑名市六華苑に集まり、ワールドカフェ形式の分科会において活発な意見交換を行いました。まとめられた提言書は伊藤桑名市長へ手渡され、桑名市の政策に反映されることとなりました。



1月31日
ノーベル物理学賞受賞
「益川敏英博士講演会」

益川博士から「学問と平和について考える」をテーマに講演いただきました。講演後は、益川博士の考える平和の観点から見る原子爆弾に対する核の抑止力についてや、今後の日本の軍事研究など、活発な質疑応答が行われ、有意義な講演会となりました。



2月13日
三重大学アカデミックフェア2017

本アカデミックフェアは学生・院生や教員らが異分野を専門とする聴衆に対して、自身の学習・研究の意義、内容、成果を分かりやすく伝える機会として毎年開催されています。ポスター発表が行われ、参加者はそれぞれ興味のあるポスター前で発表者の説明に熱心に聞き入り、活発な交流が行われました。



2月17日
“伊賀サテライト”設置に伴う
連携協力結末式

本学では、地域創生への貢献を重点施策と位置づけており、平成28年度から「地域拠点サテライト構想」をスタートさせました。本結末式では、相互の連携・協力の再確認と今後の更なる結束の約諾として、「三重大学地域拠点サテライト 伊賀サテライト設置に伴う連携協力に関する覚書」に調印しました。



2月22日
「お伊勢さん菓子博2017」
入場券贈呈式

三重県民共済生活協同組合より本学の留学生へ「お伊勢さん菓子博2017」の入場券を贈呈頂きました。贈呈いただいた入場券で80人の留学生が菓子博に入場し、日本の伝統的な形をモチーフにした工芸菓子を見学し、その精巧さに感銘を受けました。また、各地の銘菓を購入するなど、日本の文化に触れる貴重な機会になりました。



2月24日～26日
「MAE展」開催

MAE展【MAE -まえ- 展(Mie Art Education)】は三重大学教育学部美術教育コースが美術教育授業の一貫として、学生主体で企画運営する展覧会です。第6回となる今年のテーマは「知る」です。そして、展覧会のモチーフは、テーマにちなんで「虫がね」としました。作者の作品に対する考えを虫がねでのぞき、自ら探求しにいけます。



3月9日
平成28年度
「みんなで農業を考える会」

本学から20人、高野尾地区の農家から16人が参加して、本会の活動報告を行いました。生物資源学部生の大串浩平さんが「農産物直売所に対する生産者の出荷要因とニーズの把握」を報告しました。続いて、高野尾地区の農家の方2名が「ヨモギ研究会の現状」と「サトイモ特産化の取組み」について、株式会社赤塚植物園研究開発部の長谷川幸子氏が「エディブルフラワーへの取組み」について報告されました。



この日は大学の先生や学生が直接、農業者のみならずごきょうご、今の農業問題を考える場として昨年より始まりました。

3月12日
忍者文化研究プロジェクト
レクチャー・デモンストレーション2017
(アメリカ)

ハワイ大学マノア校にて開催され、山田雄司人文学部教授と川上仁一社会連携特任教授が講演とデモンストレーションを行いました。会場に集まった50人ほどの参加者に忍者の実像について講演したところ、忍者はどのような修行を行ったのか、日本に行つてぜひ修行をしたい、などの質問や意見が相次ぎ、関心の高さがうかがえました。



3月23日
平成28年度
「高等教育コンソーシアムみえ」総会

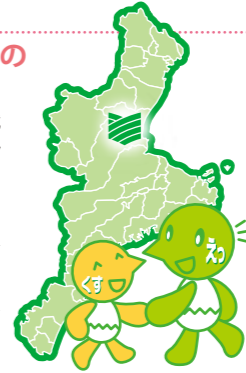
本総会で今後高等教育コンソーシアムみえ※がどのような役割を果たしていくのか、構成機関にとってどのような意義があり、そのためにどのような体制が必要か等について意見交換が行われました。



※高等教育コンソーシアムみえは三重県内の高等教育機関と地域社会とが深く結びつき、大学の発展と地域の活性化を実現する取り組みです。

3月31日
県内全29市町との
協定締結を実現

三重県の地域創生戦略の一つとして取り組んできた、県内全29市町との協定締結を実現しました。今後は地域創生の実践に関する諸課題への的確な対応や、本学における教育研究、各市町における地域振興に資するプロジェクトの実施を目指します。



4月19日～21日
第1回就職ガイダンス
「就活スタート!必要な準備って?」

新3年生・大学院1年生を対象として就職ガイダンスを開催し、3日間で879人の参加がありました。講演では、企業側の人事担当者目線で製作された採用面接ビデオの上映もあり、参加学生は1年後の就職活動での自分の姿をイメージすることができました。



4月21日
キャリアピアサポーター上級認定式

本学では、学生が学生の生活や修学を支援する「ピアサポーター」の養成のために、所定の科目を履修した学生に対して、本学の学内資格である「キャリア・ピアサポーター初級資格」、または「キャリア・ピアサポーター上級資格」を認定します。今回の上級認定式では人文学部3年の石崎千晶さん、井谷穂乃香さん、小林真菜さんの3人が上級資格を取得し、駒田学長から一人一人の学生へ認定証が授与されました。



4月29日・30日
本学学生が天満地域で
甘夏加工製造・販売

本学の東紀州サテライトおよびNPO法人天満浦百人会メンバーが主体となって、本学学生による甘夏加工品製造・販売を行いました。活動を通して、尾鷲地域の良さや可能性を実感し、本学を中心とした大学生と尾鷲(天満庄)の交流を盛り上げ、今後の連携プロジェクトに繋げていきます。29日は加工品づくり、30日には地元市場・スーパーマーケットにて販売を行いました。



5月18日
卓越型リサーチセンター
キックオフシンポジウム
「研究の深化と地域連携の創生」

本学の特色であるバイオサイエンス、次世代エネルギー、ナノテクノロジー等の研究分野を重点的に発展させるために、学内のみならず学外の研究機関や企業との研究を支援・推進する3つの卓越型リサーチセンターを本年度設立しました。今回のシンポジウムでは、各センター長がそれぞれの研究内容や活動について、最先端トピックスや将来ビジョンを交えて紹介しました。150人以上の方に参加いただき、盛況のうちにシンポジウムは終了しました。



5月20日
アควア・ソーシャル・フェス
in松名瀬2017!!

本学や地域住民、企業、メディア、松阪市、三重県、トヨタ自動車(株)などの連携事業として、三重県初のラムサール条約(特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約)への登録を目指した活動の一環として、350人が集まり、海岸清掃と干潟の生物多様性学習を実施しました。

